Vestax

Professional Mixing Controller

PMC-05Pro II

取 扱 説 明 書

〒154−0023 東京都世田谷区若林 1−18−6
電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-05ProⅡ プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

安全上のご注意 …… 1
本機の特長 …… 3
ご使用上の注意 …… 3
各部の名称と機能 …… 4
フェーダー・スイッチの交換 …… 7
接続例 …… 9
故障かな？と思ったら …… 10
保証、アフターサービスについて …… 10
主な仕様 …… 裏

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

● ダブルパネル構造により、スクラッチパフォーマンスの際の支障となるフロントパネル上のフェーダー周辺の取りつけビスや、パネルの溝を排除しました。
プロDJの意見を反映したフェーダー配置とともに、高いパフォーマンス性を実現しています。

● スクラッチパフォーマンスの際に要となるクロスフェーダーには、VCA方式を採用しています。この方式は、クロスフェーダーそのものに音声信号を経由しないため長寿命、高音質を実現しました。

VCA方式：フォトカプラー（発行ダイオードの光量変化を感知し、抵抗値を変化させる素子）を使用し、フェーダーの位置の変化を電気的に検出する素子です。従来の方式と異なり、フェーダー自身に音声信号を通さないため音質の劣化がありません。

● インプットセレクトスイッチは、操作方向を縦、横、斜め45度に変更することが可能です。トランスフォーマースクラッチの際に、好みの角度に設定することができます。

● 各入力にHI, LOWの2バンドのイコライザーを装備しています。細かい音質補正が可能です。

● クロスフェーダーリバーススイッチを装備、瞬時にPGM1, PGM2を入れ替えることが可能です。

● トップパネル上のボリュームにより、クロスフェーダーのカーブ特性を変化させることができます。またインプットフェーダーは、フェーダーユニット上のスイッチによりカーブ特性を3段階に変化させることができます。

ご使用上の注意

電源について

● 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
● 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

● この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
● テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

● 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
● 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。

修理について

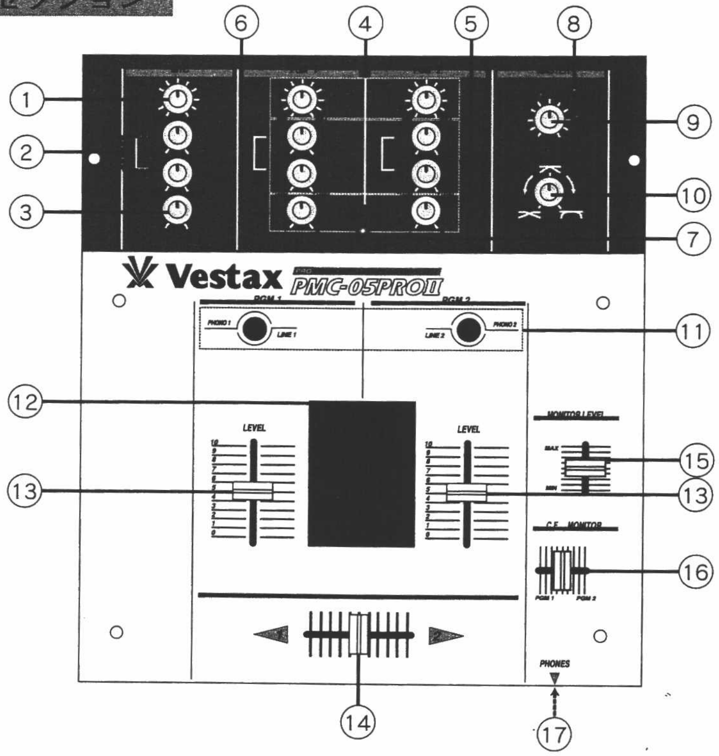
● お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
● 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取り扱い店にご相談下さい。
● 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方(スクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

● 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
● ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
● 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

各部の名称と機能

フロントパネルセクション



① **MAIN MIC LEVEL（メインマイクボリューム）**
メインマイクジャック㉓に接続されたマイクの音量を調節するボリュームです。

② **MIC EQ HI/LOW（マイクイコライザー）**
メインマイクジャック㉓、サブマイクジャック㉒に接続されたマイクの音質を調節するボリュームです。（メイン、サブ共用です）

③ **MIC PAN POT（マイクパンボリューム）**
メインマイクジャック㉓、サブマイクジャック㉒に接続されたマイクの定位（左右の位置）を設定するボリュームです。（メイン、サブ共用）

④ **PGM1/PGM2 TRIM（トリムボリューム）**
フォノ入力端子⑳、ライン入力端子⑲に接続された機器の信号のレベルを調節するボリュームです。通常、インプットフェーダーを最大にしたとき、インプットレベルメーター⑫が“0dB”位置まで点灯するように設定して下さい。

⑤ **PGM1/PGM2 EQ HI/LOW（プログラムイコライザー）**
フォノ入力端子⑳、ライン入力端子⑲に接続された機器の音質を調節するボリュームです。HI，LOWの2バンドの調節が可能です。

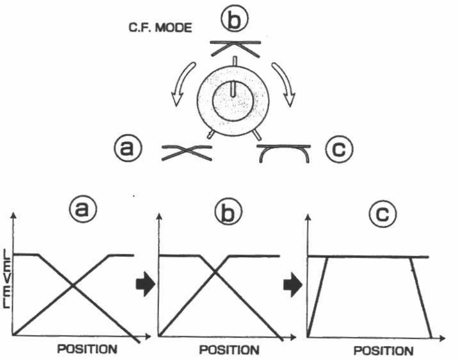
⑥ **PGM1/PGM2 BALANCE VR（バランスボリューム）**
フォノ入力端子⑳、ライン入力端子⑲に接続された機器の左右の音量バランスを調節するボリュームです。

⑦ **C.F.REVERSE SW（クロスフェーダーリバーススイッチ）**
クロスフェーダーの左右を反転するスイッチです。“NORMAL”側に設定されているときは通常の機能⑭となります。“REVERSE”側にスイッチを倒ずとクロスフェーダーを左側に移動するに従いPHONO2あるいはLINE2に入力した音声が、右側に移動するに従いPHONO1あるいはLINE1に入力した音声が出力されるようになります。

⑧ **POWER LED**
電源⑱を入れると赤色に点灯します。

⑨ **MASTER LEVEL（マスターボリューム）**
ラインアウトジャッ出力端子㉔から出力される信号のレベルを調節します。

⑩ **C.F. MODE（クロスフェーダーカーブ可変ボリューム）**
クロスフェーダーのカーブ特性を設定するためのボリュームです。



ボリュームを時計方向にまわすと ⓐ → ⓑ → ⓒ と変化します。

クロスフェーダーカーヴ特性

ⓐ…ロングミックス用です。クロスフェーダーを移動させると、ゆるやかに音量が変化し、PGM1, PGM2が入れ替わります。

ⓑ…ⓐ, ⓒの中間です。センター（中央）でPGM1，PGM2の音量が同じになります。

ⓒ…スクラッチ用です。クロスフェーダー両端での音量の立ち上がりが最も急になります。

⑪INPUT SELECT SW（入力ソース切替えスイッチ）
入力した機器を選択するスイッチです。スイッチを切替えることにより、フォノ入力端子⑳、ライン入力端子⑲に接続された機器のどちらの信号を入力するか選択します。また、スイッチの取付角度を変更することが可能です。

注　意

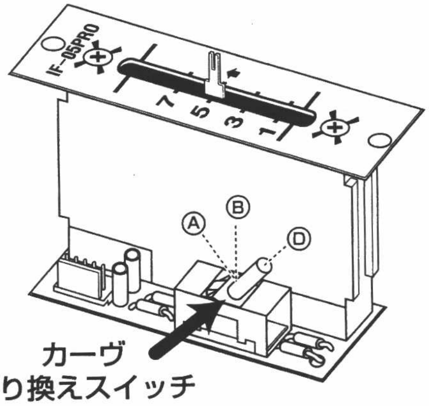
取付角度の変更については、P8の<スイッチの交換>をお読み下さい。

⑫INPUT LEVEL METER（インプットレベルメーター）
PGM1、PGM2の各入力レベルを表示します。

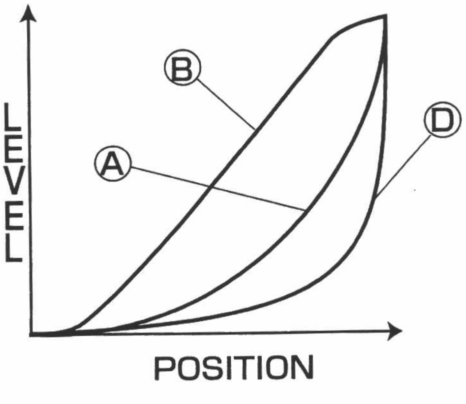
⑬INPUT FADER（インプットフェーダー）
PGM1、PGM2の各音量を調節します。下図のようにカーブ特性を切り換えるスイッチがあります。下図のⒶ・Ⓑ・Ⓓはグラフ中のⒶ・Ⓑ・Ⓓに対応します。
切り換える際はトップパネルを取り外して(P7パネルの外し方参照)、スイッチを操作して下さい。

注　意

フェーダーを移動させた時に、音声にノイズが入る場合はフェーダーが消耗しています。新しいフェーダーに交換してください。交換用のインプットフェーダーは、IF-05PROをお求め下さい。
また、交換の際はP7の<フェーダー・スイッチの交換>をお読み下さい。



INPUT FADER CURUE



⑭CROSS FADER（クロスフェーダー）
PGM1, PGM2のソース(音楽)をミックスするためのフェーダーです。通常、左端ではPGM1のみの音楽が、右端ではPGM2のみの音楽が出力されます。それ以外の位置では、PGM1, PGM2がミックスされて出力されます。リバーススイッチON時⑦には、PGM1, 2が逆になります。

注　意

フェーダーを移動させた時に、音声にノイズが入る場合はフェーダーが消耗しています。新しいフェーダーに交換してください。交換用のクロスフェーダーは、CF-05PROをお求め下さい。
また、交換の際はP7の<フェーダー・スイッチの交換>をお読み下さい。

⑮MONITOR LEVEL（ヘッドフォンボリューム）
ヘッドフォンジャック⑰に接続されたヘッドフォンの音量を調節するためのボリュームです。

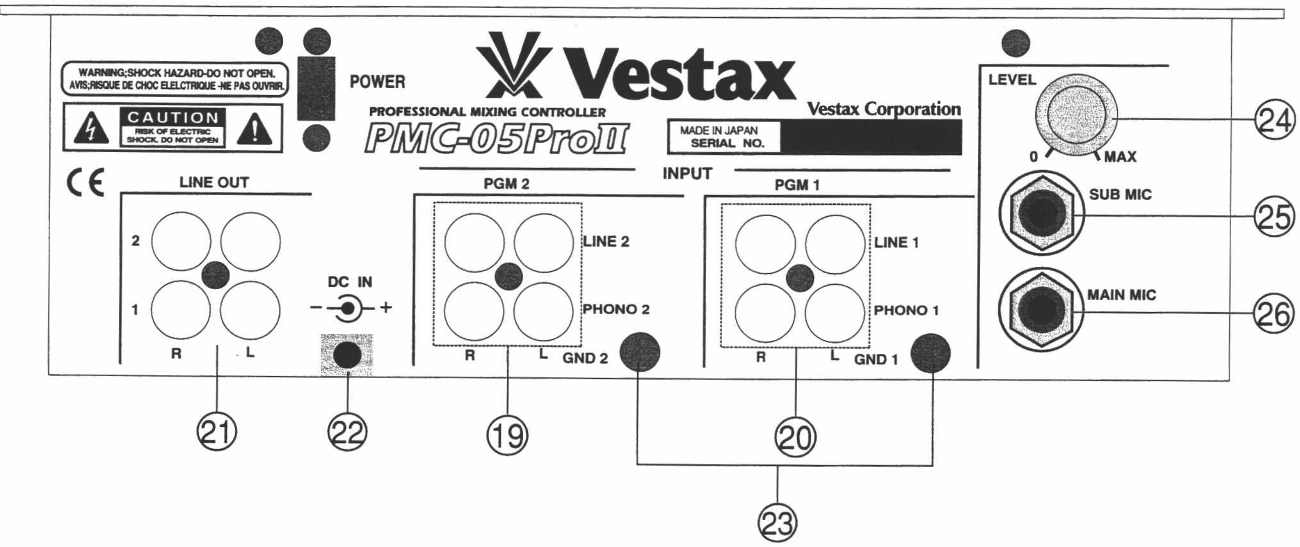
⑯CF.MONITOR（クロスフェーダーモニター）
ヘッドフォンで聴く音声をPGM1, 2どちらの音声を出力するか選択するためのボリュームです。クロスフェーダーと同様に、左右の中間位置では、その位置に応じた音量でPGM1, 2の音声が同時に出力されます。

注　意

C.F.REVERSE SWが"REVERSE"に設定されていても、クロスフェーダーモニターの左右（PGM1・PGM2）出力は入れ代わりません。

⑰H.P.JACK（ヘッドフォンジャック）
ヘッドフォンを接続するためのジャックです。

リアパネルセクション



⑱**POWER SW（電源スイッチ）**
電源のON/OFFスイッチです。ONの状態では、フロントパネル上のPOWER LED⑧が点灯します。

注　意
電源ON/OFFの際は、必ずアンプの電源をOFFにするか、ボリュームを"0"にしてから行ってください。この手順を守らない場合、スピーカー、アンプが破損する恐れがあります。

⑲**LINE INPUT JACK（ライン入力端子）**
ターンテーブル以外の周辺機器を接続するためのジャックです。CDプレイヤー、MDプレイヤー、サンプラー等の機器を接続して下さい。（LINE1はPGM1に、LINE2はPGM2に対応します）

⑳**PHONO INPUT JACK（フォノ入力端子）**
ターンテーブル専用の接続ジャックです。MM型のカートリッジ（針）に対応しています。（PHONO1はPGM1に、PHONO2はPGM2に対応します）

㉑**SUB MIC LEVEL（サブマイクボリューム）**
サブマイク入力端子㉒に接続されたマイクの音量を調節するボリュームです。

注　意
本機のPHONO入力には、MC型のカートリッジをセットされたターンテーブルは、接続することはできません。ご使用の際には、昇圧トランスでレベルを調整する必要があります。

㉒**SUB MIC INPUT JACK（サブマイク入力端子）**
サブマイクを接続する入力端子です。

㉓**MAIN MIC INPUT JACK（メインマイク入力端子）**
メインマイクを接続する入力端子です。

㉔**LINE OUT JACK（アンバランス出力端子）×2系統**
マスター音声の出力ジャックです。アンプのLINE IN, AUX, または外部入力の端子に接続して下さい。

㉕**DC INPUT JACK（電源ジャック）**
ACアダプターを接続する端子です。付属のアダプター（DC-15A）を接続してください。

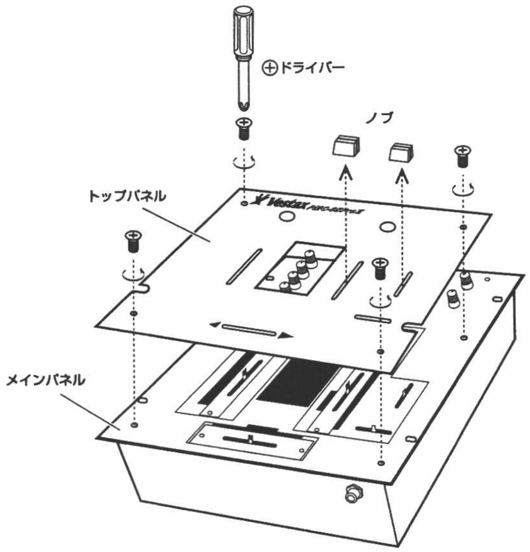
㉖**GND（グランドターミナル）**
ターンテーブルのアース線を接続してください。ハムノイズを減少させます。

フェーダー・スイッチの交換

トップパネルの外し方

①右図のようにインプットフェーダー⑬、クロスフェーダー⑭、ヘッドフォンボリューム⑮、クロスフェーダーモニター⑯のツマミを取り外して下さい。(計5個)

②トップパネルを固定している4点のネジを、右図のようにプラスドライバー(サイズ:1番)を使用し、外して下さい。

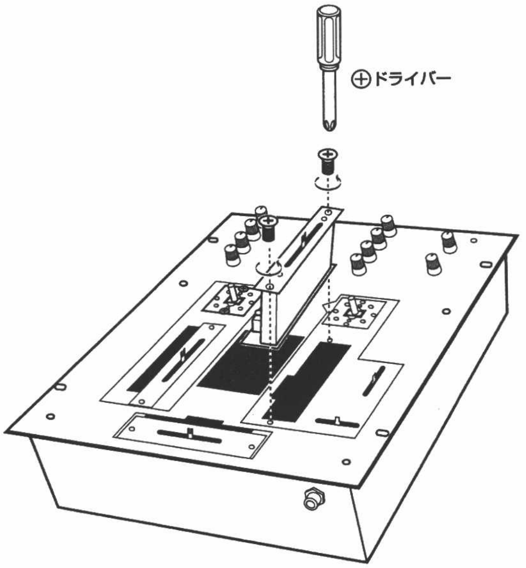


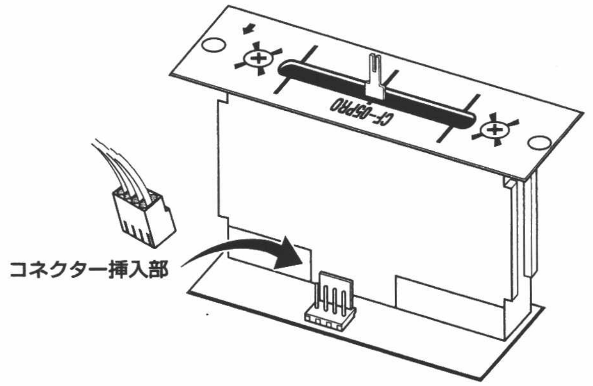
クロスフェーダー及びインップットフェーダーの交換

①右図のように、フェーダーパネルを固定している2点のネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げてください。

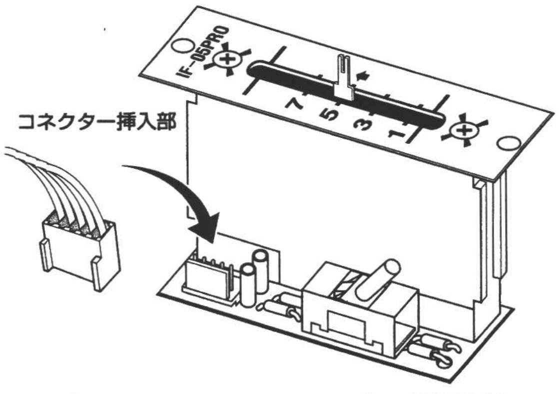
②下図のように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取り外して下さい。(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)

③新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。





クロスフェーダーユニット（CF-05PRO）



インプットフェーダーユニット（IF-05PRO）

スイッチの交換

①下図（左）のようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットごと上へ持ち上げて下さい。

② 下図（右）のように、スイッチユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取り外して下さい。(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)

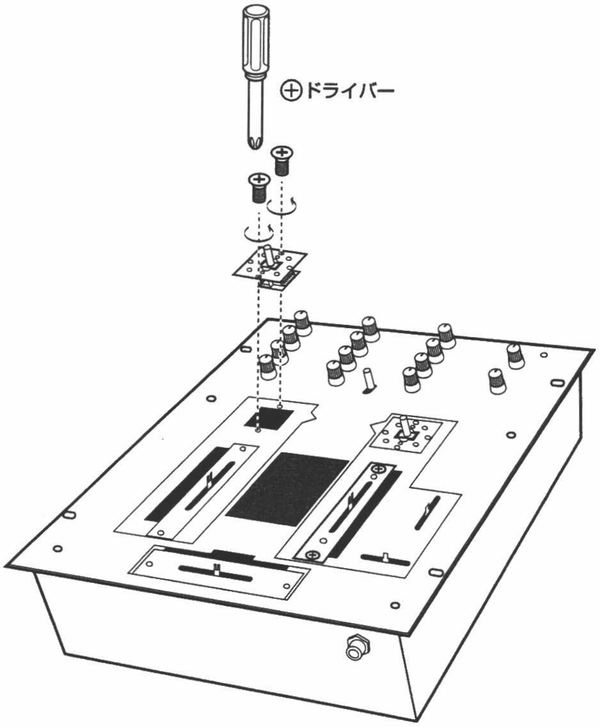
③ 新しいスイッチユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

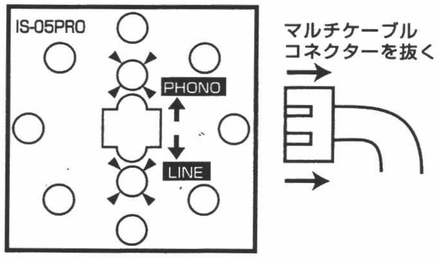
スイッチ方向の変更

①下図（左）のようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットを上へ持ち上げて下さい。

② スイッチの向きごと好みの位置に設定し、ネジで固定して下さい。

③トップパネルを元の状態に戻して下さい。

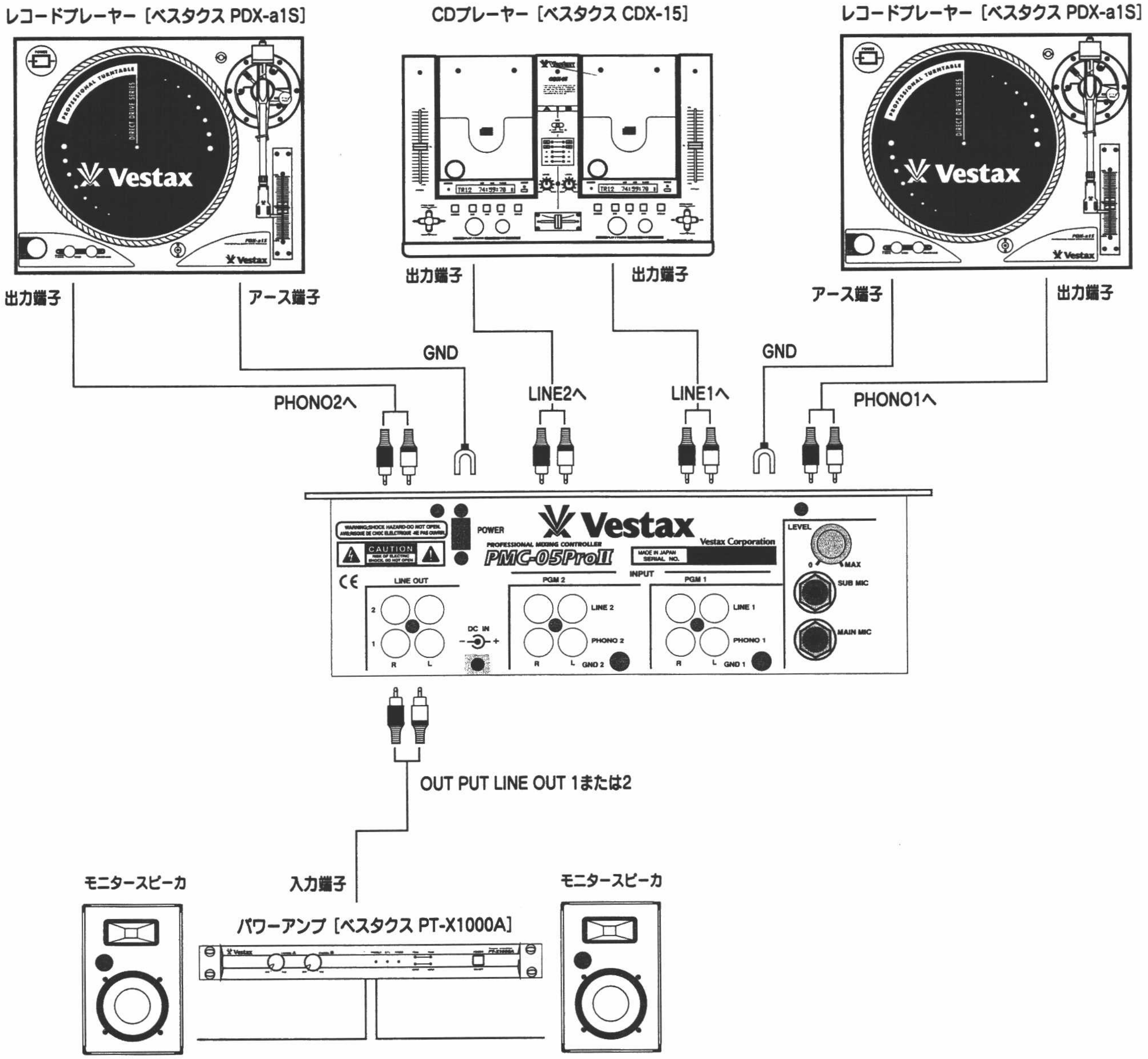




注　意

ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

接続例



レコードプレーヤー［ベスタクス PDX-a1S］
CDプレーヤー［ベスタクス CDX-15］
レコードプレーヤー［ベスタクス PDX-a1S］
出力端子
アース端子
出力端子
出力端子
アース端子
出力端子
GND
GND
PHONO2へ
LINE2へ
LINE1へ
PHONO1へ
POWER
PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER
PMC-05ProII
Vestax Corporation
MADE IN JAPAN
SERIAL NO.
LINE OUT
PGM 2
INPUT
PGM 1
LEVEL
0
MAX
SUB MIC
MAIN MIC
DC IN
LINE 2
PHONO 2
GND 2
LINE 1
PHONO 1
GND 1
OUT PUT LINE OUT 1または2
モニタースピーカ
入力端子
モニタースピーカ
パワーアンプ［ベスタクス PT-X1000A］

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーの AUX IN または LINE IN に接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SERECT スイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレーヤーの出力ケーブルを PMC-05PROⅡ 本体の LINE INPUT に接続していませんか。	PMC-05PROⅡ 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-05PROⅡ の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続していませんか。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベル高い CD、MD プレーヤー等を接続していませんか。	PMC-05PROⅡ の GAIN ヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイーヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を PMC-05PROⅡ 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クルスフェーダーユニット CF-05PRO をご購入ください。)

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ		
	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－

主 な 仕 様

	定格入力レベル	インピーダンス
MIC	-54dBv	3.3kΩ
LINE	-10dBv	10kΩ
PHONO	-42dB	56Ω
	定格出力レベル	インピーダンス
LINE	-7dBm	2kΩ
PHONES	58mW max（47Ω負荷）	8Ω以上
周波数特性	25Hz～25kHz	
クロストーク	100dB以上	
SN比	75dB以上	
THD	0.01％以下	
外形寸法（W×H×D）	103×320×262mm	
重量	3.5kg	

Vestax Corporation